

市立

2009年度

12-1月号

(通巻 125号)

いちかわ 自然博物館だより

あたりまえの風景に
あたりまえの生き物に
あたらしいときめきがある！

いきもの
写真館



撮影：土居幸雄さん

アオジ

秋から春まで市川で過ごします。木や草の種が大好物です。春にはスズメノカタビラの種子を、くちばしで上手にしごいて食べていました。

P 1 いきもの写真館

●アオジ

P 2 観察地ガイド

●長田谷津（大町公園・自然観察園）

P 3 街かど自然探訪

●稲荷木 かつてのランドマーク、一本松

くすのきのあるバス通りから

●エチゼンクラゲを見ました

P 4 拡大花図鑑

●その5 ヤツデ（小さな花を大きく）

P 5 自然博物館の活動紹介

●10・11月の散策会

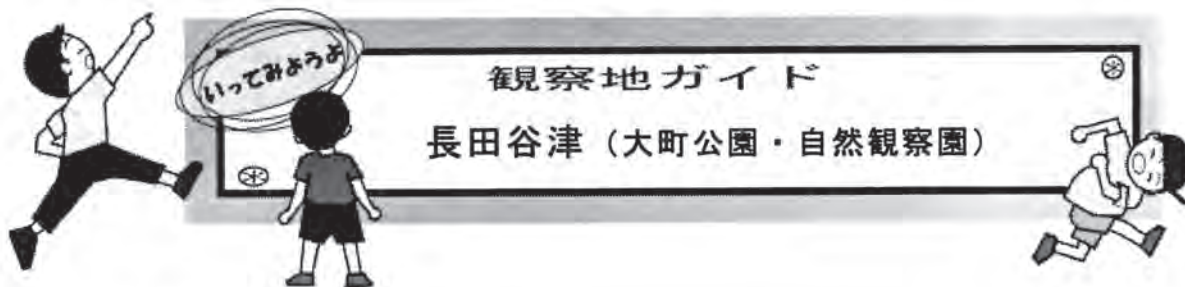
P 6 自然博物館 スポットライト

●赤ちゃんカタツムリが
たくさん孵りました

P 7 わたしの観察ノート

●9月～10月ごろの記録

P 8 行事案内



●市川市の自然財産

動植物園や自然博物館がある大町公園には、「自然観察園」と呼ばれる区画があります。ここは、かつて「長田谷津（ながたやつ）」と呼ばれた細長い谷（谷津）を一部保全して残した場所で、昭和48年に「大町自然公園」として開設され現在に至っています。観光施設としての色合いが強い動物園や観賞植物園とは異なり、本来ある自然環境を活かす形で整備され、多くの方に利用していただいています。

湧き水、湿地、斜面林がセットで保全されている場所は市内ではここにしかありません。市川市の「自然財産」と呼ぶにふさわしい場所で、自然博物館でも長田谷津をフィールドにしてさまざまな活動を実施しています。

●湿地・斜面林そして梨畑

長田谷津のすばらしさは、四季を通じて体験することができます。たとえば春は、新緑や青葉の風景、さまざまな野草の花が見どころです。夏は昆虫たちの力強さに谷津全体が包まれ、飛び交うトンボ、セミの声、木の枝や湿地の草むらのそこそこに虫たちの営みを見出すことができます。秋は色づいた木々と咲き誇る野草が見どころとなり、冬には野鳥観察を楽しむことができます。また、年間を通じて散策することで、季節の移り変わり、日々の変化を体験することができます。

長田谷津の自然にとって、水は生命線です。斜面裾からしみ出した水が細い流れを作って湿地を潤し、開けた水面や池に流れ込んで多様な水辺を作り出しています。そして、この水を供給しているのは、じつは大町公園周辺の台地に広がる梨畑なのです。梨畑は、当然のことですが土がむき出しです。雨水の排水が完備された住宅地と違い、雨水はほとんどそのまま地面にしみ込みます。その水が地下に貯えられ、長田谷津にしみ出してくるわけです。長田谷津の自然は、梨畑まで含めた中で支えられているのです。



長田谷津の夏の風景

* 長田谷津（大町公園・自然観察園） *

- 電車最寄り駅
北総線 大町駅。
- バス最寄停留所
京成バス 動植物園、大町
- 有料駐車場
動物園入口にあります。



街かど自然探訪

おじゃまします!

とうかぎ 稲荷木・かつてのランドマーク、一本松

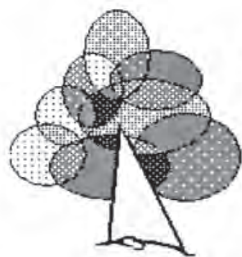
行徳街道を行徳橋から八幡方面に向かって進むと、京葉道路の手前左側に小さな祠と松の緑が見えます。道路沿いのバス停名は「一本松」です。お地蔵様の奥には、胸の高さぐらいで切られた切り株が残っていました。直径は60cmを超え太さは大人でも抱えられないくらいあります。博物館にあるクロマツの切り株は直径約48cmで年輪が約90年ですから、少なくとも100年は超えた松と思われます。いまの街の風景で突き抜けて見えるのは高層ビルや清掃工場の煙突ばかりですが、この切り株からだけでも、かつて周辺が見渡す限り水田だった頃の堂々とした姿が思い描けます。



△かつて一本松が生えていた場所。

松と石造物の後ろに隠れていて、切り株は通りからは見えない。

左下が残された切り株。上に蓋がされている。



くすのきのあるバス通りから No.70

エチゼンクラゲを見ました

10月29日、静岡県西伊豆町字久須の堤防で釣りをしていました。連れが「クラゲだよ」と呼ぶので近づくと、直径1mのエチゼンクラゲでした。カメラを取りに車に戻ろうとしたら、「あっ、行っちゃうみたい」と言うので見ると、ふわん、ふわんと消波ブロックから離れていくところでした。1匹だけ、湾のなかの堤防の突端まで来て沖へ行ってしまうしました。案外早く動きました。オレンジが

かった肌色でした。その日の朝、地元新聞の2紙に「駿河湾で数百匹確認」とあったので、迷子だったのでしょうか。漁業関係者は大変被害を受けているそうです。鉋子では網にたくさん入り転覆したそうです。海で2～3種類のクラゲを見たり、触ってしまったことがあります。水族館では「きれいだなー、優雅におよぐなー」と感激しますが、エチゼンクラゲのあの大きさは迷惑なだけです。

(M. M.)

拡大花図鑑

その5

ヤツデ

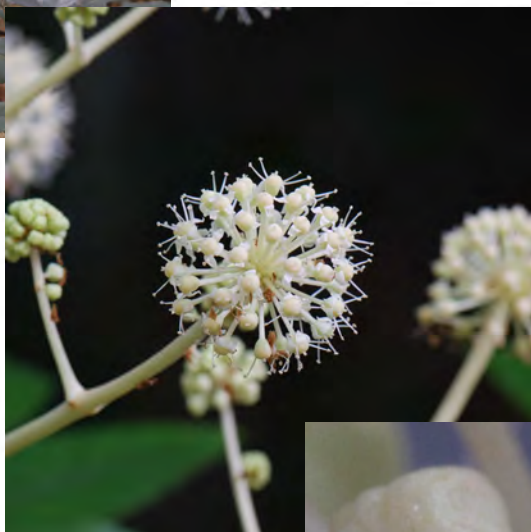
(小さな花を大きく)

何気なく見過ごしている花でも、拡大して見るとまったく別の姿に驚くことがあります。晩秋から冬にかけて咲くヤツデも、ふつうは花が脚光を浴びることはありませんが、拡大して見ると、きちんとした形の花に驚きます。また、花盤(かばん)と呼ばれる盛り上がった部分に蜜の固まりが見え、実際、ひとつつまんで舌先で触れてみると、甘みを感じます。



←ヤツデの花序(かじょ)

大きな葉が茂る中から茎を伸ばし、枝分かれした先に花の集まりをつける。



←小さな花の集まり

花序の球状の部分には、小さな花が行儀よく並んでいる。



花ひとつの拡大→

中央に短い雌しべがあり、周囲に雄しべと花びらが5個ずつ、交互に並んでいる。

中央の丸い部分は花盤と呼び、盛り上がっていて蜜を分泌する。

(写真では、蜜が固まっていてガラス状に見える)

自然博物館の 活動紹介

季節を感じる散策会

10月18日(日)

《秋の田んぼ》

親子ふれあい農園～市営霊園

参加者 17人 大人 16人
小学生 1人

11月15日(日)

《紅葉の季節》

大町公園

参加者 大人 20人

●秋の野歩き

今年4月の散策会で歩いたコースを、秋の風景を楽しみながら再度歩きました。田んぼのあぜなど土の道をたっぷり通ります。

タイトルは秋の田んぼですが、ふれあい農園の稲刈りの終わった田んぼ以外に、ナシ畑の間の農道や市営霊園の草原などの植物もじっくり見て歩きました。



●たくさん歩きました。

天気にも恵まれて、歩くだけで気持ちの良い日でした。田んぼや畦の野草の他にも、たくさんのイナゴや優雅に歩くダイサギも見られました。参加者の方の案内で途中少し寄り道して、青い実の美しいイシミカワの群生も見ました。少々行程が長く、お疲れになった方もいらっしゃいましたが、頑張って歩いて12時には集合場所へ戻りました。4月に参加してくださった方も多くいらして、秋を楽しんでいただけました。

●木の葉の移り変わり

まだ走りの紅葉を、ゆっくり歩いて楽しみました。紅葉の仕組みや、太陽に向かって歩いた場合と背にして歩いた場合の見え方の違いなども説明しました。また、新緑から青葉、盛夏を経て紅葉、落葉へと至る時間の流れの中での、葉の機能や色素の状態についても説明しました。

●見ごたえのある紅葉でした。

開催の前週は、嵐のような雨風の荒れた天気が多かったのですが、当日は青空が広がり数日ぶりの気持ちのよい日でした。数日の間に、一気に紅葉も進みました。

モミジの紅葉のほかにも、梨畑のナシの黄葉や、真っ赤なツタの葉柄だけが残っている様子も見られました。ニシキギやカマツカの紅葉、ヤマコウバシの橙色の葉などを、参加者の方々は盛んに写真に収めていらっしゃいました。



自然博物館 スポットライト

赤ちゃんカタツムリが たくさん^{かえ}孵りました。

春から直径が3cmほどのミスジマイマイを3匹飼っています。9月にそのうちのどれかが、水槽の底や側面に直径3mmぐらいの白い卵をバラバラと産みました。同じ水槽に入れておくと卵がつぶされてしまうので、コケを取ってきてその上に移し、別の小さな水槽で様子を見ました。飼育の本には1ヶ月ほどで孵^{かえ}ると書いてありましたが1ヶ月半ほどしてあきらめた頃に次々と孵りはじめ、11月までに半分以上の卵が孵りました。一般的に多くの貝は、産まれた時は親とは似ても似つかない姿をしています。ミスジマイマイなどのカタツムリ類は、体が小さ

いだけで親とそっくりです。二本の「つ」を出し、一回半ぐらい巻いた殻を背負ってよく動き回ります。



△孵って約1ヶ月のカタツムリ。
いっしょに写っているのはつまようじの頭。

ちよと学芸員のウラ話 …カタツムリのうた

「幼稚園でカタツムリの歌を教えてもらってきました。生きているカタツムリを見たことがなかったので、パパと家のまわりを探したのですが、見つからなくて・・・。」というお母さんのお話がきっかけで、博物館でカタツムリ(ミスジマイマイ)を飼いだしました。来館者の方からも「大きなカタツムリ!」「久しぶりに見たね!」という声が聞こえてきます。

カタツムリは、わざわざ探さなくても雨上がりには目にする、そんな生き物です。博物館の周りでも、以前は園内にある木のベンチの下をのぞけばたいてい数匹は見つかりました。ところが、いつの間にか木のベンチがプラスチック製に変わっていて、もちろんそこではカタツムリは見つかりません。身近ないきものが、気が付いたら見あたらない、歌の中にしか登場しなくなれば、とても寂しいことです。

わたしの 観察ノート

◆大町公園より

- ・ツリフネソウが見ごろになりました(9/6)。日向の株は葉が少し縮れた感じでしたが、日陰の株はきれいでした。
- ・生まれたばかりのイオウイロハシリグモの子グモたちの巣「まどい」があちこちで見られました(9/17)。つつくといっせいに散らばって行きました。

◆大野町より

- ・市営霊園の草原的な環境の場所に、ツリガネニンジンが咲いていました(10/17)。一度草刈されているので背は低かったですが、花はきれいでした。
- ・ふれあい農園の稲刈りの終わった田んぼに、水田雑草がいろいろ咲いていました(10/17)。スズメノトウガラシやヤナギタデ、イヌタデ、ヨメナ、ミゾソバ、イチヨウウキゴケなどが目に付きました。

以上 金子謙一(自然博物館)

◆大町より

- ・秋分の日、梨畑の柵の先端や隣接するシラカシの梢などで、モズが「高鳴き」をして縄張り宣言をしきりにしていました(9/23)。前日までは耳にすることができませんでした。

須藤治(自然博物館)

◆南大野より

- ・大柏川に数羽のユリカモメが上手に旋回しながら下りて行きました(10/30)。真っ白な体がとてもきれいでした。

宮橋美弥子(自然博物館)

◆堀之内周辺より

- ・キツネノカミソリが咲き終わった斜面に、ツルボが咲き始めました(9/1)。

谷口浩之さん(北国分在住)

◆里見公園より

- ・くちばしに虫をくわえて、サクラの木にとまる赤色型カッコウ科1羽を見ました(9/5)。胸の横斑と体の大きさから、おそらくホトトギスと思われます。
- ・イカル2、3羽がキョッ、キョッと鳴きながら飛び回り、時折、良い声でさえずっていました(10/31)。

◆坂川旧河口周辺より

- ・江戸川沿いのヤナギ類の木とその隣のオニグルミにアリスイが1羽ずつとまっていた(9/22)。これまで、アリスイが鳴き交わす声を聞いたことがあり、2羽いると思ったことはありました。しかし、2羽同時に姿を見たのは今日が初めてです。
- ・タゲリ2羽がふわふわとした飛び方で江戸川を下って行きました(10/31)。4年ぶりの観察です。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

- ・フジバカマの群落がちょうど見ごろでした(9/12)。今年は群落がまばらで、例年の豪華さはありませんでした。

金子謙一(自然博物館)

10月8日に台風が通過しました。雨はほとんどなく猛烈な風が吹き荒れました。海から塩風が吹き付けました。少雨の9月と気温変動の大きい10月でした。



行事案内



季節を感じる 散策会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テーマ	日時	場所
クロマツのある街なみ	1月24日(日) 午前10時～11時30分	市川駅～本八幡駅
国府台界限	2月21日(日) 午前10時～11時30分	里見公園～じゅん菜池緑地

自然講座 お申し込みの必要はありません。直接会場へお越しください。

自然の話題を紹介する、室内講座です。

- ・会場 八幡市民談話室(国道14号線本八幡駅前交差点角)
- ・時間 午後6時～8時

- 1月23日(土) 「長田谷津いきもの暦」 (担当/金子謙一)
- 1月30日(土) 「地形のみどころ(北西部)」 (担当/宮橋美弥子)
- 2月6日(土) 「身近な外来生物」 (担当/須藤 治)
- 2月13日(土) 「千葉県の蛾類ーシャチホコガー」 (担当/清野元之)

長田谷津ボランティア

湿地の環境整備をお手伝いして下さいますか。 (雨天中止)

- ・日時 1月31日㊥、2月28日㊥(12月はお休みです) 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

野草名札付けのお手伝いをして下さいますか。 (申し込み不要・雨天中止)

- ・日時 1月10日㊥、2月7日㊥、 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。

休館のお知らせ

施設改修工事及び年末年始のため
12月7日(月)より1月2日(土)まで
休館いたします。

なお、動植物園、自然観察園は
12月27日まで平常どおり
開園しています。

市立市川自然博物館だより
第21巻 第5号 (通巻第125号)
平成21年12月 発行
編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地
☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku/>